

漢方薬で癒す
こころとカラダ

23

のどの不調に半夏厚朴湯
はんげこうぼくとう

以前、別の病院で当直をしていた時のことです。あるご老人が、「夕飯で食べた梅干しの種が、のどに引っかかって苦しいのでとってくれ」と受診されました。診察でのどを見ても、呼吸音の聴診も、レントゲン写真でも異常は見つかりませんでした。この場合、西洋医学的には診察や検査で異常がなく「気のせいです（＝病気ではない）」と言われがちですが、東洋医学では「ク氣ノの流れに異常がある（＝りっぱな病気）」と判断

します。東洋医学的には「ク氣」とはエネルギーの流れを表し、流れの一部が滞った状態を「ク氣鬱ウツ」と診断します。漢方の古典の中では、「ク梅核氣ばいかくき」「ク梅の種、または「ク咽中炙癭いんちゆうしやれん」のどに詰まった焼肉と表現されます。

「ク氣鬱クウツ」の代表的な処方として、**半夏厚朴湯はんげこうぼくとう**があります。気鬱の症状である、のどや胸の詰まり感、咳、むせ、吐き気などの症状に効果が期待できます。

（小児科部長 池野一秀）

半夏厚朴湯

はんげこうぼくとう

【効能又は効果】

気分がふさいで、咽喉、食道部に異物感があり、ときに動悸、めまい、嘔気などを伴う次の諸症：不安神経症、神経性胃炎、つわり、せき、しわがれ声、神経性食道狭窄症、不眠症

※必ず医師の指示のもと服用してください。

池野医師の書籍紹介

Dr.イケノの

思春期お悩み相談室

漢方薬で癒すこころとカラダ

著：池野一秀

価格：3,278円（税込）

B6判・180頁

発行：新興医学出版社

当院1階売場
「ハーモニー」にて
好評発売中!

